

【活動紹介】 研究開発成果発表会

～人と技術を伸ばすことを目的に、研究開発成果発表会を開催しております～
研究開発によって得た成果や知見を社内で発表することにより、技術の共有・展開・継承とプレゼンテーションスキル向上などの人材育成の促進を図っております

● 研究成果発表会概要 ●

2010年よりスタートし、これまで開催された10回の発表会にて約70件の発表を行って参りました。多くの方々に聴講いただき、開発者たちの取り組みや研究成果、また実際に開発する中でどんな目標に挑戦し、課題を解決したかなどが発表されました。

～ 発表者の声 ～

- * 多くの聴講者の前で発表するといった機会がなく、体感したことのないドキドキ感や緊張感を味わうことができ、貴重な経験になった
- * 「誰が見てもわかりやすい資料」を意識し、図や絵で表現したり、用語や言葉選びにも気を配りながら資料を作成した
- * 質疑応答の時間があるため、質問事項をいくつも想定して挑んだ
- o 多くの聴講者の前で発表することで、他部署の方に顔と名前を認識してもらい、またプレゼン能力と度胸を培うことができました！この経験は自身のスキルアップと成長につながっています！！

～ 最優秀賞・優秀賞・技術賞 ～

研究や開発内容が優れているか(創意工夫・技術習得・達成度・将来性など)、プレゼン資料のわかりやすさやプレゼン力などを基準として審査され、表彰されます

- o 日頃の研究開発が評価され、開発者たちの今後のモチベーションアップになります！

研究開発成果発表会を
一つの機会とし、
更なる活躍が期待できます



～ 開発する上で苦労したこと、困ったことなど ～

- * 筐体と基板の位置が決まっており、限られた容積の中で、実現可能な部品を選定し、組み立てる際の部品並びやバランスの調査に時間を要したが、繰り返し検討、試験することで解決できた
- * 電波ノイズの試験においてエラーが発生したが、社内で再現試験や改善シミュレーションを行い、短期間で改善することができた
- * 開発者とお客さまでは使いやすさの目線が違うため、お客さまにとって使いやすい商品の開発を目指し、多くの意見や要望をお客さまから集めたところ、開発者だけでは思いつかない視点からの設計ができた
- * 近年の世界情勢により資材調達難が発生し、調達に時間を要する場合は、代替部品を速やかに選定し、商品リリースが遅延しないよう努めた
- o 多くの聴講者の前で、苦労した点や困った点を伝えることで、普段接することがない部署や役職の方に現状を知ってもらうとともに、新しい知見やアドバイスをいただけるとても貴重な機会になりました！

～ 開発者の熱い思いを存分に～

製品や技術、開発者たちの思いを社内全体で共有することで、部署や役職などの垣根を超えた応援やアドバイスをいただけました。今後の開発に活かせる知識や知見を得るとともに、課題や目標を共有、意見し合うことで、対応力や解決力を培うことができるため、今後の開発も自信をもって挑むことができます！！



新たな商品の創出、新技術の研究・開発は、弊社の原動力であり、今後も人間力と技術力の向上に努めてまいります。